

## 白川郷の大家族の特徴

村によって家族の規模や具体的な生活様式が多少異なるため、白川の典型的な大家族とは何かという厳密な定義はありません。そうとはいえ、典型的な大家族では家長が中心となり、家長の妻、相続人とその家族、そして他の子供たちが同居していました。娘たちは結婚後も家に残り、定期的に妻のもとを訪れる夫を迎えていました。相続権を持たない息子たちも同様に、村内の他の場所にいる妻のもとを訪れていました。その家の娘に生まれた子供は、家長が育てました。